

資料1「生徒の変容を評価するルーブリック」

| 資質・能力 | 内容 | レベル：C (各1点) | レベル：B (各3点) | レベル：A (各5点) | レベル：S (各10点) | 1学期 平均点 | 2学期前半 平均点 | 2学期後半 平均点 |
|--|-------------------|---------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------|--------------|--------------|
| 1.基礎学力 定義：家庭で学習 に向かう力 | 家庭での学習時間 | 家庭学習時間は30分以下である | 家庭学習時間は30分から1時間程度である | 家庭学習時間は1時間から2時間程度である | 家庭学習時間は2時間を超える | 2.2 | 2.6 | 3.0 |
| | 家庭での学習習慣 | 家庭学習は週に2日未満である | 家庭学習は週に2～3日程度である | 家庭学習は週に4～5日である | 家庭学習は毎日行う | 2.3 | 2.8 | 3.2 |
| 2.学習意欲 定義：学習に対する 意欲について | 準備について | 授業が始まってから授業の準備をすることがある | 授業前に準備が完了している | 指示された授業の予習を行い、授業前に準備が完了している | 指示された以外の授業の予習も行い授業前に準備が完了している | 3.3 | 3.4 | 3.7 |
| | ノートの取り方 | 板書されたことをノートに取るることができる | 毎回授業に集中して板書されたことをノートに取るることができる | 板書されたことを丁寧にノートに取るることができる | 板書以外も記録するなど、ノートの取り方を工夫している | 4.5 | 4.9 | 5.3 |
| 3.活用力 定義：学習内容と 社会問題を結びつ ける力 | 学習内容の理解 | 学習した内容を一応理解している | 学習した内容を正しく理解している | 学習した内容を正しく説明できる | 学習した内容を、自分の知識や経験と関連づけて説明できる | 3.0 | 3.1 | 3.7 |
| | 学習と社会との つながり | 学習内容と関係のある身近な例を一つは思いつく | 学習内容と活かせる身近な場面や社会問題を一つは思いつく | 学習内容を社会問題の解決に役立てるための方法がわかる | 学習内容を役立てるために学び続けることができる | 2.7 | 3.0 | 3.3 |
| 4.チャレンジ力 定義：ICTを活用 して学習に向かう 力 | Googleクラス ルーム | Googleクラスルームにログインすることができる | Googleクラスルームの情報を欠かさずチェックしている | Googleクラスルームの課題を行い、提出することができる | Googleクラスルームの情報を周囲に周知することができる | 3.5 | 4.3 | 4.9 |
| | Chromebookの 活用 | アカウントとパスワードを手帳などに書き留めている | アカウントとパスワードを覚えてChromebookにログインできる | どのデバイスからでもログインできる | Chromebookの効果的な活用方法を提案することができる | 3.3 | 3.9 | 4.3 |
| 5.問題解決力 定義：困難な場面 に遭遇した際に周 囲の協力を得なが らすめる力 | コミュニケーション力 | 自ら考えることなく周囲に頼ることがある | 自分の意見を述べるることができる | 周囲と協力をして進めることができる | 自らリーダーとなり、周囲の意見をまとめることができる | 3.7 | 4.0 | 4.3 |
| | 課題意識 | 授業内容について、受けるにとどまる | 授業内容について、自分事として授業を受けている | 授業内容について、自分の意見を出すことができる | 授業内容について、課題解決する方法を見つけることができる | 3.4 | 3.7 | 3.9 |